

令和3年 第2回定例会

# 一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (18人、66項目)	備考
1	つ の じ 寛 美	1 こども基本条例について 2 長峰地域の安全対策について 3 東京都の高齢者を対象としたスマホ利用の普及啓発事業の推進について 4 新型コロナワクチン接種の円滑な推進について	
2	村 上 洋 子	1 東京都こども基本条例の制定について 2 ヤングケアラーの支援強化について 3 子どもの「眼軸近視」を防ぐ取り組みについて 4 新型コロナウイルスワクチン接種について	
3	北 浜 けんいち	1 多摩川緊急治水対策プロジェクトについて 2 コロナ禍における稲城市の観光について 3 稲城市の新たなペットボトルリサイクル事業について	
4	山 岸 太 一	1 国の財源保障による持続可能な介護保険制度の確立について 2 市民の不安を解消し、誰一人あきらめることのない新型コロナワクチン接種計画について 3 希望するすべての人が保育園や学童を利用できる待機児童対策と、専門職としての保育士の待遇改善について 4 南山東部土地区画整理地域周辺の新しい道路の整備状況と交通安全対策について	
5	市 瀬 ひ さ 子	1 社会的孤立防止対策について 2 「生理の貧困」対策について 3 オリジナル命名書の発行について 4 高齢者の見守りについて 5 「三沢川ライトアップ事業」について	
6	いそむら あきこ	1 子どもたちを性犯罪・性暴力から守る取り組みについて 2 公園・学校の遊具等での事故予防の取り組みについて 3 市役所窓口の市民サービスの向上について	
7	岩 佐 ゆ き ひ ろ	1 ワクチン接種について 2 キャッシュレス決済ポイント還元について 3 ふるさと納税制度について	
8	坂 田 た け ふ み	1 適応指導教室「梨の実ルーム」の運営について 2 防犯カメラの設置について 3 百村地区のまちづくりについて	
9	岡 田 ま な ぶ	1 新型コロナから市民の生命を守り、くらしと地域を支える支援について 2 オリンピック・パラリンピックの「学校連携観戦」について 3 国民健康保険税の値上げを抑える取り組みについて 4 都立高校入試の男女別定員制について 5 子どもの学習・生活支援事業について	
10	川 村 あ や	1 子どもたちの「見守り」大人たちの「交通事故防止」を促す呼びかけ放送について 2 市内高齢者の介護予防について 3 市内での農業体験について	

11	武田 まさひと	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 聴覚・言語障害者へのコミュニケーションバリアフリーの取組みについて</li> <li>2 コワーキングスペースについて</li> </ul>	
12	佐藤 しんじ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入の決定とスタートに向けての準備について</li> <li>2 コロナ禍の状況も踏まえた児童虐待防止対策について</li> </ul>	
13	角田 政信	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 「自転車のまち稲城」の推進について</li> <li>2 活力あふれるまちづくりに向けた商業の活性化について</li> <li>3 安全安心まちづくりについて</li> </ul>	
14	中 田 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 稲城市におけるコミュニティの育成支援について</li> <li>2 若葉台駅前周辺の空き店舗について</li> <li>3 若葉台公園だんだん広場や商業施設周辺の騒音・暴走行為について</li> <li>4 資源ごみ集団回収補助金制度の現状について</li> <li>5 新型コロナワクチン接種受付について</li> </ul>	
15	田島 きく子	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 大丸都営跡地の福祉活用について</li> <li>2 「重症心身障害・医療的ケア児者通所事業所整備促進事業補助金」について</li> <li>3 オリンピックの聖火リレーと自転車競技ロードレースについて</li> <li>4 特別教室のエアコン設置について</li> <li>5 矢野口地区の交通安全対策について</li> <li>6 生理の貧困について</li> </ul>	
16	梶浦 みさこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症の陽性者等の選挙投票機会の確保について</li> <li>2 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進と基盤としてのマイナンバーカードの普及促進・利便性の向上について</li> <li>3 持続可能なプラスチック資源循環の促進について</li> <li>4 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコースをレガシーとしてサイクルツーリズムを推進する「ナショナルサイクルルート」を目指すことについて</li> </ul>	
17	榎本 久春	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者福祉施設等に從事されている方への新型コロナウイルスワクチン接種について</li> <li>2 上谷戸緑地体験学習館の駐車場の利用方法について</li> <li>3 介護保険制度の持続可能な運用を行うための介護を担う人材不足への対応について</li> </ul>	
18	鈴木 誠	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 防災と救急に関する稲城市の取組みについて</li> <li>2 民・民の問題、課題に対する市の関わり方について</li> <li>3 稲城っ子の食育、学校給食並びに休日学童クラブの昼食について</li> <li>4 稲城市の新型コロナウイルスワクチン接種における課題克服について</li> </ul>	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	公 明 党	つ の じ 寛 美

項 目 番 号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>こども基本条例について</p> <p>社会の宝である子どもを「権利の主体」として尊重することを明記した、議員提案の「東京都こども基本条例」が4月1日から施行されました。条例は、国連の「子どもの権利条約」の理念に基づくもの。都議会公明党が原案作成の段階から一貫してリードし、3月の都議会本会議で全会一致で可決、成立しました。</p> <p>(1)概要について伺います。</p> <p>(2)都が定めたこども基本条例について市の認識を伺います。</p> <p>(3)子どもの意見が施策に適切に反映されるように環境の整備を図ることが条例に盛り込まれておりますが、この点について市の認識を伺います。</p> <p>(4)こども基本条例の策定を踏まえた上での、市の今後の取り組みについて伺います。</p>	
2	<p>長峰地域の安全対策について</p> <p>長峰地区は、星の見える街をコンセプトとしていますが、住民からは、防犯・安全対策として、景観を考慮した街路灯の照度のアップを望む声をいただきます。そこで、令和2年度に市内の全ての街路灯や防犯灯はLED化となり、市民の方々からは明るくなったとの声がある一方で、長峰地区の住民からは、防犯・安全対策として、その後で</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	も望む声をいただきます。子どもたちの安全対策としての市としての見解を伺います。	
	(1)長峰地区の街路灯・防犯灯のLED化の状況について伺います。	
	(2)長峰地区の防犯対策について伺います。	
3	東京都の高齢者を対象としたスマホ利用の普及啓発事業の推進について	
	インターネットを活用出来るかどうかで情報格差（デジタルデバイド）が生じないように、東京都は2021年度から、高齢者を対象としたスマホ利用者の普及啓発事業として「スマホ教室」を実施します。都議会公明党はこれまで、議会質問を通じて、デジタル化の流れに高齢者が取り残されないよう、一貫して対策を求めてきました。	
	(1)東京都の高齢者を対象としたスマホ利用普及啓発事業について、市への通知の状況について伺います。	
	(2)今後の取り組みについて伺います。	
	(3)周知について伺います。	
4	新型コロナワクチン接種の円滑な推進について	
	感染収束の鍵を握るコロナワクチン。稲城市では5月12日から65歳以上の高齢者を対象に接種がスタート致しました。	
	日本に供給される予定の海外ワクチンは、全国民数を上回る1億5700万人分になります。(2021年2月末現在)。公明党は、20年5月、各党に先駆けて、プロジェクトチームを党内に設置。関係者への聞き取りから海外ワクチンの確保	



通告番号	会派名	氏名
2	市民クラブ	村上洋子

項目 番号	質問要旨	摘要
1.	東京都子ども基本条例の制定について	
	<p>子どもが「あらゆる場面において権利の主体として尊重される」ことを明示し、国連「子どもの権利条約」と合致した「東京都子ども基本条例」が制定されました。子どもの権利の視点に基づき基礎自治体として、施策の点検と、子どもの救済、制度改善、意見表明につなげるための条例の普及・啓発が必要と考えます。</p>	
	<p>(1) 「東京都子ども基本条例」制定を踏まえた施策の点検について市の認識を伺う。</p> <p>(2) 子どもを権利の主体ととらえ、救済や制度改善、子どもによる意見表明を保障するため、条例の普及・啓発を行うことについて市の認識を伺う。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2.	ヤングケアラーの支援強化について	
	<p>厚生労働省・文部科学省の副大臣を共同議長とする「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム」が報告書を取りまとめ5月17日に公表されました。</p> <p>2021年夏に策定する経済財政運営の指針「骨太の方針」への反映を目指すとのことですが、ヤングケアラーの支援強化への素早い対応のため、情報収集と関係する市の施策の取りまとめを行う体制を整える必要があると考えます。</p>	
	<p>(1) 「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム」報告書のとりまとめのポイントは何か伺う。</p> <p>(2) 2020年12月から実施されたヤングケアラーの実態調査の概要と稲城市の状況について伺う。</p> <p>(3) ヤングケアラーは子ども家庭支援センターを窓口とした「要保護児童対策地域協議会」を中心に支援されているがそれは何歳までか、また、「子ども・若者育成支援推進法」等も踏まえ、それ以降の若者世代のケアラー支援の主たる相談窓口はどこか伺う。</p> <p>(4) ヤングケアラーの支援にかかわる今後の取り組み体制の整備について市の認識を伺う。</p>	



項目 番号	質問要旨	摘要
3.	子どもの「眼軸近視」を防ぐ取り組みについて	
	<p>コロナ禍でオンライン学習が急速に広がるなど、様々な要因によって、子供の眼球の長さが延びてしまうことによる「眼軸近視」が増えているという報道があります。「眼軸」は延びてしまうと元に戻すことはできないことから、幼児期から児童・生徒の時期に注意深く観察し「眼軸近視」を防ぐ取り組みが必要と考えます。</p>	
	<p>(1) 市内の子どもの目の健康の現状について伺う。</p> <p>① 就学前のお子さんの視力の状況について</p> <p>② 小・中学校の児童・生徒の視力の状況について</p> <p>(2) 目の健康を守る現状の取り組みについて伺う。</p> <p>① 就学前の健診体制と取り組みについて</p> <p>② 小・中学校の健診体制と取り組みについて</p> <p>(3) 子どもの目の健康に取り組む先進事例について伺う。</p> <p>(4) 今後の取り組みについて市の認識を伺う。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
4.	<p><b>新型コロナウイルスワクチン接種について</b></p>	
	<p>希望する市民に対し、新型コロナウイルスワクチン接種をスムーズに実現することが求められています。 接種体制の整備について伺います。</p>	
	<p>(1) 現在のワクチン接種の予約体制の概要について伺う。</p> <p>(2) 高齢者の接種予約の進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 接種状況について伺う。  ① 医療従事者  ② 高齢者（高齢者施設入所者以外）  ③ 高齢者施設の入所高齢者と従事者</p> <p>(4) 当日キャンセル等で余剰ワクチンが発生した時の対応について伺う。</p> <p>(5) 基礎疾患を有する者、その他の者への接種の見通しについて伺う。</p>	





項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	稲城市の新たなペットボトルリサイ	
	クル事業について	
	稲城市は、従来のペットボトルリサイクル事業	
	から新たに地元企業と協定を結び「ボトル to ボ	
	トル」リサイクル事業を開始することとなりました。	
	そこで、この事業について市の見解を伺いま	
	す。	
	(1) 現在のペットボトルリサイクル事業の概要	
	について	
	(2) 新規の「ボトル to ボトル」リサイクル事	
	業の概要について	
	(3) 新事業への移行による効果について	
	(4) 新事業への移行による回収等変更について	

通告番号	会 派 名	氏 名
4	日本共産党	山岸太一

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>国の財源保障による持続可能な介護保険制度の確立について</p> <p>第8期介護保険計画から新しい交付金が新設され、国の指標に基づいた点数競争の度合いが強まり、東京都市長会の予算要望でも懸念が示されています。介護保険制度を支えるために、国に対して財源保障を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について</p> <p>①それぞれの交付金の概要について聞きます。</p> <p>②それぞれの交付金の稲城市の評価指標と交付額の実績について聞きます。</p> <p>③インセンティブによる交付金ではなく、明確な財源保障を国に求めるべきと考えるが認識を聞きます。</p>	
2	<p>市民の不安を解消し、誰一人あきらめることのない新型コロナワクチン接種計画について</p> <p>新型コロナワクチンの接種が開始されています。予約ができた人とそうでない人に差が生まれ、予約できなかった市民からは接種をあきらめるという声も届いています。正確な情報発信と丁寧な対応により、希望するすべての人にワクチンが行きわたる接種計画を求める立場から質問します。</p> <p>(1) ワクチンの供給状況について</p> <p>①すでに届いたワクチンについて、届いた日毎の供給量を聞きます。</p> <p>②今後のワクチン供給の予定について聞きます。</p> <p>(2) 予約・接種状況について</p> <p>①医療従事者の接種状況について聞きます。</p> <p>②一般高齢者の接種状況と予約状況について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(3) これからの計画について</p> <p>① 次の優先順位の人たちへの接種計画について聞きます。</p> <p>② 希望するすべての人が安心してワクチンを接種できるようにすることが求められると考えるが認識を聞きます。</p> <p>希望するすべての人が保育園や学童を利用できる待機児童対策と、専門職としての保育士の待遇改善についてこれまで認可保育園の新設による待機児童ゼロを求めてきました。学童クラブも含めた更なる待機児童対策の推進と、保育士の待遇改善により子どもたちが安心して保育を受けることのできる環境づくりを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 認可保育園の待機児童数と待機児童対策について</p> <p>① 直近の待機児童数（新々基準・旧基準）と前年同月の待機児童数（新々基準・旧基準）とそれに対する認識について聞きます。</p> <p>② 希望する人が保育園に入園できるようにするための待機児童対策について認識を聞きます。</p> <p>(2) 学童クラブの待機児童数と待機児童対策について</p> <p>① 学童クラブの待機児童数とそれに対する認識について聞きます。</p> <p>② 希望する人が学童クラブを利用できるようにするための待機児童対策について認識を聞きます。</p> <p>(3) 新子育て安心プランについて</p> <p>① 国の「新子育て安心プラン」の概要について聞きます。</p> <p>② 「保育補助者の活躍促進」と「短時間勤務の保育士の活躍促進」の内容について聞きます。</p> <p>③ 国に対して「保育園の面積基準」や「保育士の配置基準」の改善を求めるべきと考えるが認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>南山東部土地区画整理地域周辺の新しい道路の整備状況と交通安全対策について</p> <p>南山区画整理が進む中で、新たな道路の整備もされています。交通量の増加や交差点の発生に対して、迅速で効果的な交通安全対策を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 多7・4・5号線について</p> <p>①第三中学校から京王線高架下部分の交通開放後の交通量について聞きます。</p> <p>②南山東部土地区画整理地域部分の道路の工事進捗状況と今後の見通しについて聞きます。</p> <p>③本郷根方通りと交差する地点の交通安全対策の内容について聞きます。</p> <p>(2) 多3・4・12号読売ランド線について</p> <p>①道路工事の進捗状況と今後の見通しについて聞きます。</p> <p>②南山東部土地区画整理地域部分の道路の工事進捗状況と今後の見通しについて聞きます。</p> <p>③トンネル部分も含めた全体の交通安全対策の内容について聞きます。</p>	



通告番号	会 派 名	氏 名
5	公 明 党	市瀬 ひさ子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>社会的孤立防止対策について</p> <p>公明党は5月21日、孤立防止対策に関する提言を菅首相に提出致しました。提言は、9回にわたり実施した識者らとの意見交換や、国会議員と地方議員が行った聞き取り調査を基にまとめられたもので、コロナ禍で深刻化する社会的孤立に対する法整備の検討や、属性・世代を問わず丸ごと支援する「重層的支援体制整備事業」の全国展開などを掲げています。</p> <p>社会的孤立防止対策について、市の認識と現状について伺います。</p>	
2	<p>「生理の貧困」対策について</p> <p>生理用品の購入費用を負担できない、また親から買ってもらえないなどの「生理の貧困」が世界各国で問題となり、政府による生理用品の無料配布や、軽減税率の導入などの取り組みが国外で広がっています。この様な中、本年3月4日、公明党の佐々木さやか参議院議員が、また3月9日には、まつば多美子都議会議員がそれぞれ予算委員会において、現場の声を受け、日本での「生理の貧困」を他党に先駆けて取り上げ、必要な対策の検討を訴えました。公明党稲城市議団としても3月16日に高橋市長へ要望書を提出致しました。</p> <p>各地の公明党地方議員が中心となり要望書の提出</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>や一般質問を行うことで、無料配布などの支援の取り組みが進んでいます。</p> <p>(1)現状について伺います。</p> <p>(2)市の防災備蓄品として保管している生理用品について伺います。</p> <p>(3)今後の取り組みについて伺います。</p>	
3	<p>オリジナル命名書の発行について</p> <p>お子さまの誕生は人生の第一歩であり、ご家族にとってはかけがえのない喜びで溢れる記念日となります。また、出生届を受理する稲城市にとっても、未来を担う新しい市民の誕生に本市が関わることができる感謝の気持ちと、本市への愛着が深まることを期待し、市として祝福の思いを形にして伝えることも重要であると考えます。</p> <p>(1)出生届の一般的な届出方法について伺います。</p> <p>(2)稲城市における令和2年度中の出生届の受理件数について伺います。</p> <p>(3)出生届を届出たお子さまへのオリジナル命名書の発行について市の考えを伺います。</p>	
4	<p>高齢者の見守りについて</p> <p>住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域社会の実現は高齢者の願いであり、稲城市の目指すところでもあります。地域の力で支え、異変に気付き、大切な命を守ることにつながる「見守り」は、高齢者が安心して日常生活を継続できる大変重要な取り組みです。市内においても、近隣</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>住民の方はもちろんのこと、様々な立場で見守りを行って頂いていることは認識しております。</p> <p>この様な中で、一人暮らしや高齢者のみの世帯を中心とする高齢者の見守りについて伺います。</p> <p>(1)現状について伺います。</p> <p>(2)コロナ禍における高齢者の見守りの課題について伺います。</p>	
5	<p>「三沢川ライトアップ事業」について</p> <p>「桜・梨の花まつり」では、お祭りの演出の一環としてポンボリを点灯してきましたが、令和2年からは新たに稲城市観光協会が加わり、さらには東京観光財団による「春のライトアップモデル事業助成金」を活用した桜のライトアップが始まりました。昼間とは一味違う幻想的な雰囲気魅了され、市内はもとより市外からも多くの方々に越し頂いています。心安らぐ空間として、稲城の魅力をアピールできる大切な事業であると考えます。新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、今後の事業継続について伺います。</p> <p>(1)三沢川ライトアップ事業について伺います。</p> <p>(2)東京観光財団が助成する「春のライトアップモデル事業助成金」について伺います。</p> <p>(3)今後の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	市民クラブ	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>子どもたちを性犯罪・性暴力から守る取組みについて</p> <p>わいせつ行為を行った教員を再び教壇に立たせないことを目指す「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律案」が、5月28日に参院本会議で可決され、今後、性犯罪・性暴力のさらなる対策強化が期待されます。</p> <p>全国各地で保育園や学校等でのわいせつ行為の報道が後を絶たない中、子どもたちを性犯罪・性暴力から守る取組みは急務であると考え、現状の取組みと認識について伺います。</p> <p>(1) 保育園・幼稚園について</p> <p>①近年、保育園・幼稚園内でも性犯罪・性暴力が発生している状況であるが認識について伺う。</p> <p>②市内の保育士・幼稚園教諭からの性犯罪・性暴力防止対策について現状の取組みを伺う。</p> <p>③万が一、保育園・幼稚園で性犯罪・性暴力被害の訴えがあった場合の市の対応について伺う。</p> <p>④幼児期の「生命（いのち）の安全教育教材」について認識を伺う。</p> <p>⑤今後の性犯罪・性暴力防止対策の取組みについて伺う。</p> <p>(2) 小学校・中学校について</p> <p>①近年、小中学校内でも性犯罪・性暴力が発生している状況であるが認識について伺う。</p> <p>②市内の小中学校の教員からの性犯罪・性暴力防止対策について現状の取組みを伺う。</p> <p>③万が一、小中学校で性犯罪・性暴力被害の訴えがあった場合の教育委員会の対応について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>④日本の性同意年齢は13歳と他の先進国と比較すると低年齢であるが、13歳までに性行為についての理解、判断についてどのような教育がされているのか伺う。</p> <p>⑤小学校・中学校の「生命（いのち）の安全教育教材」について認識を伺う。</p> <p>⑥今後の性犯罪・性暴力防止対策の取組みについて伺う。</p> <p>公園・学校の遊具等での事故予防の取組みについて</p> <p>今年、全国の小中学校において、相次いで校内の設備における事故が発生しています。</p> <p>公園や学校での遊具・設備による事故を防ぐため、現状の取組みと認識について伺います。</p> <p>(1) 公園の遊具について</p> <p>①直近5年間の市内の公園遊具等での事故の発生状況と認識について伺う。</p> <p>②公園遊具の安全点検の取組み状況について伺う。</p> <p>③事故予防の取組みとして、遊具の正しい使用方法等についての周知啓発や遊具の対象年齢表示の設置が必要だと考えるが、認識を伺う。</p> <p>(2) 小中学校の遊具・設備について</p> <p>①直近5年間の市内小中学校の遊具・設備での事故の発生状況と認識について伺う。</p> <p>②北九州市の中学校で起きたバスケットゴール落下事故、宮城県白石市の小学校で起きた防球ネットの木製支柱が折れたことによる死亡事故についての認識とその後の本市の対応について伺う。</p> <p>③小中学校の遊具・設備の安全点検の取組み状況について伺う。</p> <p>④今後の小中学校の遊具・設備での事故予防の取組みについて伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>市役所窓口の市民サービスの向上について</p> <p>死亡手続きをする際に遺族の負担を軽減するため、「おくやみコーナー」の設置や「おくやみハンドブック」を作成する自治体が増加しています。</p> <p>今後、本市においても高齢化に伴い、必要な行政サービスと考え、認識について伺います。</p> <p>(1) 死亡に伴う手続きについて、現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 死亡に伴う手続きをワンストップで対応する「おくやみコーナー」について認識を伺う。</p> <p>(3) 必要な手続きや書類をまとめた冊子「おくやみハンドブック」について認識を伺う。</p> <p>(4) ICTを活用した手続きの簡素化について認識を伺う。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
7	改革稲城の会	岩佐ゆきひろ

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	ワクチン接種について	
	<p>(1) 稲城市でも4月19日から新型コロナウイルスワクチンの医療従事者への優先接種が始まりました。また5月12日から65歳以上の方のワクチン接種が始まりましたが、現在の接種状況についてうかがいます。</p> <p>① 医療従事者別のワクチン接種の順番と現在の進捗状況について</p> <p>② 65歳以上の方のワクチン接種の方法と進捗について</p>	
	<p>(2) 高齢者の方がワクチン接種の予約をする際、電話が繋がらなかったり、集団接種の予約がうまくまわってしまい予約の取れない方や、個別接種においても、どこの病院でワクチン接種の予約が空いているかわからないという相談がありましたが、その対策についてうかがいます。</p>	
2	キャッシュレス決済ポイント還元について	
	<p>(1) 5月15日から稲城市内事業者への経済対策として、市内店舗等でのキャッシュレス決済に対して、決済額の一部をポイント還元するキャンペーンがはじまりました。現在までの利用状況についてうかがいます。</p>	
	<p>(2) 今回、auPAYでの30パーセント還元のキャッシュレス決済の方法や経緯、市民に対しての周知方法についてうかがいます。</p>	
	<p>(3) 決済ができる稲城市内事業者を増やしてほしいとの声が多く聞こえますが、今後の稲城市内事業者を増やしていく取り組みについてうかがいます。</p>	

3	<p>ふるさと納税制度について</p> <p>(1) ふるさと納税制度は本来、生まれ育ったふるさとや応援したい自治体の力になる制度であると認識しております。</p> <p>しかしながら、返礼品による競争が加熱し、本市のふるさと納税制度による財政への影響額は年々増加傾向です。</p> <p>ふるさと納税制度の現状についてうかがいます。</p> <p>① 今年度、ふるさと納税制度による影響額の見込みについて</p> <p>② 過去3年間の影響額について</p> <p>③ ふるさと納税制度の影響額に対する市の認識について</p>	
	<p>(2) ふるさと納税においては本市も、財政的な観点から、また稲城市を知ってもらおうという視点からも、今後も拡充していくべきと考えます。市の見解をうかがいます。</p> <p>① 現在の稲城市の返礼品について</p> <p>② 今後の拡充について</p>	



通告番号	会 派 名	氏 名
8	新 政 会	坂田 たけふみ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
1	適応指導教室「梨の実ルーム」の運営について	
	(1) 様々な要因により学校生活に適応できず、登校しぶりや不登校傾向、不登校の状況にある児童生徒が通う梨の実ルームですが、その存在について広く市民に周知するべきと考えますが、市の認識について伺います。	
	(2) 梨の実ルームは、その事業目的からも親しみやすいものであり、どういった内容の取り組みをする場所であるかを市民にも知っていただく機会があると良いと考えますが、そういった取り組みがあるかについて伺います。	
	(3) 登校しぶりや不登校傾向、不登校の状況にある児童生徒及びその保護者が梨の実ルームに見学や通室の相談をするときには、現状では電話での問い合わせになると聞いています。しかしながら、こういったケースのご家庭の場合、いきなり電話での問い合わせというのは、なかなかハードルが高いのではないかと想像します。電話以外の問い合わせの仕方について、市の認識を伺います。	
	(4) 梨の実ルームに通室した事により登校しぶりや不登校傾向、不登校の状況にあった児童生徒に変化があった事例について伺います。	
	(5) 梨の実ルームが、登校しぶりや不登校傾向、不登校の状況にあった児童生徒にとっての居場所や支援の場であり、重要な施設の一つであると考えます。その施設が、ふれんど平尾の1カ所というのは大変もったいない気がします。そういうことから考えると、平尾地区だけでなく、京王線や南武線付近にも同様の施設があると、さらに登校しぶりや不登校傾向、不登校の状況にある児童生徒の支援に活かせるのではないかと考えますが、市の考えを伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
2	防犯カメラの設置について	
	<p>(1)先日、市内の公園の遊具が壊されるという大変悪質な犯罪が起きました。普段公園を利用しているお子さんや、その家族にとって日常の遊び場が利用できないという事は大変悲しい出来事でした。また、このような事件は、近隣にお住いの方々にも、また起こるのではないかという不安も与えていることと思います。</p> <p>そのため防犯面における一つの方法としての防犯カメラの設置について、市の認識とカメラの設置状況を伺います。</p>	
3	百村地区のまちづくりについて	
	<p>百村地区は、市の中心部に位置し、都市の骨格を形成する幹線道路である南多摩尾根幹線や鶴川街道、市内の治水を担う三沢川、さらには公共交通の重要な結節点である稲城駅を含む、中心地区に位置付けられた区域です。誰もが安全で安心して暮らせ、活力にあふれる百村地区のまちづくりの実現に向け、都市基盤の整備や安全対策の推進が求められています。</p>	
	(1)南多摩尾根幹線の4車線化に向けた取り組み状況について	
	(2)鶴川街道百村区間の整備に向けた進捗状況及び市の取り組みについて	
	(3)活力と賑わいの創出に向けた土地活用の取り組みについて	
	(4)百村地区の交通安全対策への取り組みについて	

通告番号	会 派 名	氏 名
9	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p><b>新型コロナから市民の生命を守り、 くらしと地域を支える支援について</b></p> <p>(1) 市内の高齢者施設等、接待を伴う飲食店等の PCR 検査の補助を行う感染拡大防止対策事業の取り組み状況は。</p> <p>(2) 東京都は 4 月に高齢者・障がい者施設等で「週 1 回」の検査を実施する予算を計上した。市内の高齢者施設・障がい者施設等での取り組み状況は。</p> <p>(3) 学校、幼稚園、保育園の教職員などにも、定期的な PCR 検査が必要と考えるが認識は。</p> <p>(4) 感染拡大と緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の経済的影響は全国に及び、特定の業界・業種だけでなく、すべての中小企業、個人事業主に深刻な打撃となっている。十分な補償は、経済対策・生活防衛策であるとともに、感染拡大を抑止するうえでも必要不可欠です。コロナ禍による売り上げ減少で厳しい状況にある中小・小規模事業者、個人事業主への支援として、2 回目の持続化給付金、家賃支援給付金の支給が求められると考えるが認識は。</p> <p>(5) 生活困窮者への一律 10 万円の給付、「住居確保給付金」「生活福祉資金の特例貸し付け」の支援の延長・拡大、給付への切り替えなど、コロナ禍で仕事や収入が減り、生活に困窮している多くの人たちへの支援の強化が必要と考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p style="text-align: center;"><b>オリンピック・パラリンピックの 「学校連携観戦」について</b></p> <p>(1) 小学校、中学校の観戦日程、内容、場所は。</p> <p>(2) 学校連携観戦の内容と目的は。</p> <p>(3) 真夏の会場に大勢の人が集まる。感染対策、熱中症対策をどう考えているか。</p> <p>(4) 子どもも感染しやすく、重症化する可能性も従来より高いと指摘される「変異株」が拡大している。子どもはワクチン接種を受けていない。さらに、炎天下のマスク着用での観戦は熱中症リスクが高まる。こうした状況を考慮し、子どもたちのいのちと健康を守るために「学校連携観戦」は中止すべきと考えるが認識は。</p> <p>(5) 「学校連携観戦」が実施される場合、感染が心配で休む場合は、「欠席扱いにしない対応を」との声が寄せられているが認識は。</p>	
3	<p style="text-align: center;"><b>国民健康保険税の値上げを抑える取り組みについて</b></p> <p>(1) 5年間の国保の被保険者数と人口に占める割合、国保加入世帯数と市の世帯数に占める割合は。</p> <p>(2) 新型コロナ感染症の影響による国民健康保険税の減免の申請と決定の状況は。</p> <p>(3) 国民健康保険の都道府県化に伴う法定外繰入の解消計画について。</p> <p>(4) 新型コロナ感染症の影響で厳しい生活状況が続くもとで、令和4年度(2022年度)に国民健康保険税の値上げを行うべきでないと考えますが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(5) 東京都市長会は、東京都が「国に対し現行の国庫負担割合の引上げ及び国保制度の安定化に不可欠な財政支援の確実な実行」を国の責任において講じるよう働きかけることを求めている。高すぎる国民健康保険税のこれ以上の値上げを抑えるためにも、引き続き、国に公費負担を増やすことを求めていくべきと考えるが認識は。</p>	
4	<p><b>都立高校入試の男女別定員制について</b></p> <p>合格ラインが異なる都立高校入試の男女別定員制は「不合理だ」という声が広がり、入試のあり方を検討する東京都の検討委員会でも30年来、問題が指摘され続け、「男女別定員制の廃止」も求められてきた。</p> <p>稲城の子どもたちに公正な入試を保障する視点から質問する。</p> <p>(1) 入試は公正であるべきと考えるが認識は。</p> <p>(2) 稲城の子どもたちのためにも、性別によって進路を断たれることのない公正な入試が求められると考えるが認識は。</p>	
5	<p><b>子どもの学習・生活支援事業について</b></p> <p>令和2年度(2020年度)から、子どもの学習・生活支援事業がはじまった。</p> <p>厳しいくらしの中で、諦めかけている、諦めてしまっている、一人でも多くの子どもたち、保護者に、貧困の負の連鎖におちいることなく、生きる力、生きる楽しさをつかんでいけるように支援を求めてきた。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>支援事業の取り組み状況を質問する。</p> <p>(1) 2020年度の事業内容と評価について</p> <p>(2) 2021年度の事業内容と取り組み状況について</p>	

通告番号	会派名	氏名
10	新政会	川村 あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>子どもたちの「見守り」大人たちの「交通事故防止」を促す呼びかけ放送について</p> <p>防災行政無線を活用し、小学生の下校時間に合わせて「見守り」呼びかけ放送を流す近隣市が増えています。 市民の方への呼びかけは、子どもたちの防犯の観点だけではなく車や自転車等の運転をされている方への注意喚起にも繋がると考えています。 現在、稲城市の安心安全街づくりの一環として、地域の防犯パトロール活動を自主的にして下さっている方も多くいらっしゃいます。 今後サポート的な部分も含め「見守り」呼びかけ放送を市内で行うべきと考えますが市の考えを伺います。</p> <p>(1) 市内の安心安全街づくりの現状について ①防犯登録団体による防犯活動について伺います。 ②防犯活動個人ボランティア登録について伺います。 ③防犯パトロール車によるパトロールについて伺います。</p> <p>(2) 市内小学校の防犯・交通安全の対策について ①登下校時の取り組みについて伺います。 ②近年の不審者情報等の事案について伺います。 ③児童が関係した交通事故について伺います。</p> <p>(3) 防災行政無線の活用について ①現在の活用状況について伺います。 ②小学校の下校時に「見守り」呼びかけ放送を行うことについて市の考えを伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2	<p><b>市内高齢者の介護予防について</b></p> <p>コロナ禍における高齢者対応についての質問を、昨年6月の令和2年第2回定例会で行いました。 その後の状況及び現状などについて伺います。</p> <p>(1) 高齢者の状況について ① 外出自粛による影響について伺います。</p> <p>(2) コロナ禍での介護予防支援について ① 市で行った事業について伺います。 ② 自主グループの活動数及び内容について伺います。 ③ 高齢者への運動の働きかけについて伺います。</p> <p>(3) 今後の支援について ① 市の考えを伺います。</p>	



項目 番号	質問要旨	摘要
3	<p><b>市内での農業体験について</b></p> <p>コロナ禍が長引き、平日は、自宅でテレワークをし、休日も自宅で外出を自粛している方が増えている一方で、安心・安全な野菜を自分自身で育て食べたいという市民の方からの声を頂いております。</p> <p>農作業をしたいと言っても、集合住宅等で庭がない方も多くいらっしゃると思います。そういった方々にとって、市から借りることができるファミリー農園を活用できることはありがたい事と思います。</p> <p>このような時期だからこそ、市民の方々に喜んで活用してもらえないかと考え質問させていただきます。</p> <p>(1)ファミリー農園について ①概要について伺います。</p> <p>②使用状況について伺います。</p> <p>(2)農家開設型市民農園・農業体験農園について ①概要とファミリー農園との違いについて伺います。</p> <p>(3)子どもたちによる農業体験について ①子どもたちにとって、土に触れる機会を増やすことは、心を落ち着かせ、五感を刺激し感受性を高める情操教育にも繋がると言われています。</p> <p>子どもたちによる農業体験も、市内の農家さんへの理解に繋がるとは思います。状況について伺います。</p> <p>(4)農業体験の拡充について ①ファミリー農園・農家開設型市民農園・農業体験農園での農業体験の拡充について市の考えを伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	市民クラブ	武田まさひと

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1.	<p>聴覚・言語障害者へのコミュニケーションバリアフリーの取組みについて</p> <p>聴覚・言語障害者の方がスマートフォンなどの画面越しに、手話通訳を介して相手と通話ができる「電話リレーサービス」が、公共インフラとして7月より開始されます。</p> <p>様々な場面において、聴覚・言語障害者へのコミュニケーションのバリアフリーに取り組む必要があると考え、「電話リレーサービス」「Net119 緊急通報システム」「新型コロナウイルスワクチン予約時の対応」について伺います。</p> <p>(1) 電話リレーサービスについて</p> <p>①電話リレーサービスの内容と課題について認識を伺います。</p> <p>②今後の周知方法について伺います。</p> <p>(2) 「Net119 緊急通報システム」について</p> <p>①令和元年8月のスタート時に30名の登録があったという答弁がありましたが、現在の登録者数を伺います。</p> <p>②サービス開始から「Net119 緊急通報システム」の利用状況毎の件数について伺います。</p> <p>③「Net119 緊急通報システム」の登録促進について伺います。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスワクチンの予約および接種時の対応について</p> <p>①予約方法と利用状況について伺います。</p> <p>②集団接種会場・市内各診療所等での聴覚・言語障害者への対応について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p data-bbox="304 264 914 304">コワーキングスペースについて</p> <p data-bbox="304 360 1257 499">コロナ禍で在宅勤務となる人が増加していますが、様々な事情から家庭外でのビジネス環境を求めている方が増えています。</p> <p data-bbox="304 506 1257 689">本年7月中に、地域振興プラザでコワーキングスペース試行実施が開始される予定ですが、市民の声を活かし、より有益なサービスの展開を期待します。</p> <p data-bbox="304 745 1257 840">(1) コワーキングスペースの無償提供を企画するに至った背景と経緯を伺います。</p> <p data-bbox="304 896 1257 1176">(2) 令和3年度一般会計補正予算では、地域振興プラザの1階に設置している「いなぎ Free Wi-Fi」と別にしたのは、1時間で切れてしまうことを避ける以外に、プライバシーセパレーターを導入するというご答弁がありました。その理由を伺います。</p> <p data-bbox="304 1232 1257 1370">(3) オンライン会議の需要もあるかと思いますが、利用時の制限やルールなど想定していることを伺います。</p> <p data-bbox="304 1426 1257 1520">(4) 無償提供という事ですが、経費を抑える工夫があれば伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
12	公明党	佐藤しんじ

項目事項	質問要旨	摘要
1	<p>コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入の決定とスタートに向けての準備について</p> <p>本年3月に行われた令和2年度の稲城市総合教育会議にて、コミュニティ・スクールの導入が決定されました。コミュニティ・スクールの導入により、学校現場に存在する様々な課題の解決のみならず、GIGAスクール構想とも相まって、教育環境の更なる発展を展望することができます。一方では、しかし、制度を変えても実質が伴わなければ、旧態依然の体制が継続するのみとなる一抹の不安もあります。そのような思いを杞憂に終わらせるためにも、令和4年4月のスタートに向け、万全の準備が必要であります。</p> <p>(1)コミュニティ・スクール導入決定にあたっての経緯について伺います。  ①平成16年の法制化以降、本市において、どのような経過(議論)を経て導入に至ったのか伺います。  ②導入を決定した理由、目的について伺います。</p> <p>(2)学校運営協議会について伺います。  ①学校運営協議会の役割(機能)を伺います。  ②学校運営協議会を構成する委員の人事権者並びに選出方法を伺います。</p> <p>(3)令和4年4月のスタートへ向けての取り組みについて伺います。  ①準備を進める組織体制について伺います。  ②スケジュールについて伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>コロナ禍の状況も踏まえた児童虐待防止対策について</p> <p>日本経済新聞 3月 11日付けの記事によりますと、全国の警察が 2020 年に摘発した児童虐待事件は 2133 件(前年度比 161 件増)、被害に遭った 18 歳未満の子どもは 2172 人(181 人増)で、いずれも過去最多となった、とのことであります。また、警察庁は同記事の中で、「外出自粛の影響で地域の見守りが減少している可能性がある」としております。これは外出自粛の影響により、「地域住民の目」が届きにくい状況や、地域住民間のコミュニケーションの一層の希薄化により生じている状況を指示したコメントであると理解いたします。コロナ禍におけるそのような状況も踏まえながら、子どもたちの命を守るため、児童虐待防止対策の徹底が、稲城市におきましても今後更に求められます。</p> <p>(1)コロナ禍以前の平成 31 年、コロナ禍の令和 2 年のそれぞれ 4 月から 9 月の稲城市における児童虐待の状況について伺います。</p> <p>①児童虐待件数と被害に遭った 18 歳未満の子どもの人数を伺います。</p> <p>②被害内容の内訳を伺います。</p> <p>③被害児童の年齢別の内訳を伺います。</p> <p>(2)稲城市の児童虐待防止対策における、コロナ禍の令和 2 年 4 月から 9 月の実施状況について伺います。</p> <p>①児童虐待対応における対応件数を伺います。</p> <p>②子どもと家庭の総合相談における相談件数と相談内容について伺います。</p> <p>③養育支援訪問事業における訪問件数を伺います。</p> <p>④育児支援ヘルパー事業におけるヘルパーを派遣した件数を伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
	<p>⑤乳児家庭全戸訪問事業における訪問件数を伺います。</p> <p>⑥子ども緊急ショートステイ事業における利用件数を伺います。</p> <p>(3)今後の取り組みについて伺います。</p> <p>①外出自粛の影響により、地域住民の目が届きにくく、かつ、地域住民間のコミュニケーションが一層希薄化する状況にあるコロナ禍における、児童虐待防止対策の取り組みについて伺います。</p> <p>②児童虐待防止対策の周知について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
13	新 政 会	角 田 政 信

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>「自転車のまち稲城」の推進について</p> <p>本年3月に策定された「第二次稲城市観光基本計画」では、観光資源の4本柱の一つであるスポーツ部門にサイクリングなどの自転車活用が位置づけられています。</p> <p>市では、これまでも観光まちづくりの一つのテーマとして、「自転車のまち」を推進してきました。さらに、市内の南多摩尾根幹線等は、7月に開催される東京2020オリンピック競技大会の自転車競技ロードのコースになっていて、この計画においては、観光資源の活用・発掘の施策としてオリンピックレガシーの創出と活用を図るとしています。</p> <p>(1) 活力あふれるまちづくりと魅力の発信の観点からの「自転車のまち稲城」の取組について</p> <p>自転車は、環境負荷もなく健康増進にも役立つ交通手段であり、通勤・通学や買い物など様々な用途に利用されています。</p> <p>自転車競技のように南多摩尾根幹線を走るサイクリスト以外にも、市内の自然を楽しみ、食事をしたり、買い物をしたり、ゆっくりと観光を楽しむ方々も自転車を利用します。市の認識と取組について伺います。</p> <p>(2) シェアサイクルに対する認識と支援について</p> <p>シェアサイクル「HELLO CYCLING」は、2018年9月に、市内6か所で設置してスタートし、2020年4月の利用者は2,000件弱であったが、2021年3月には9か所の追加設置があり、現在、</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>29か所になり2021年4月には利用者が4,000件弱となるなど、かなり定着してきました。</p> <p>市内交通手段というより、観光の2次交通手段としてシェアサイクル事業の推進を支援してはと考えます。</p> <p>市の認識と支援について伺います。</p> <p>(3) 自転車通行空間の整備について</p> <p>市民をはじめ、自転車を利用される方々が安全で快適に利用できるとともに、歩行者の安全を確保するためにも自転車通行空間の整備を進めていただきたいと思います。</p> <p>考えます。自転車通行空間の整備について伺います。</p> <p>(4) 自転車利用者に対する交通安全の普及啓発の取組について</p> <p>自転車を利用される方は交通ルールを守り、歩行者の安全を守る義務があります。しかしながら、市内では自転車の事故も頻繁に発生しているときいています。</p> <p>交通安全の取組について伺います。</p>	
2	<p>活力あふれるまちづくりに向けた商業の活性化について</p> <p>第五次稲城市長期総合計画の策定に合わせ実施された市民意識調査の報告書によると、「駅周辺や地域の商店など、にぎわいや活気」に対する満足度は約32%となっていて、にぎわいや活気のあるまちづくりを望む声が多く寄せられています。</p> <p>(1) 市民意識調査に対する認識について伺います。</p> <p>(2) 商業の振興に向けた取組について</p> <p>市民意識調査の報告では、今後、力を入れるべき施策には、企業誘致や商店街の活性化など商業の振興に</p>	





通告番号	会派名	氏名
14	起風会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市におけるコミュニティの育成支援について</p> <p>第五次稲城市長期総合計画 基本計画第5章第2節「コミュニティの育成支援」では、自治会活動及び市民活動に対する支援を推進することにより、住民主体による地域活性化や課題解決を目指していることが記載されている。</p> <p>コミュニティとは、自治会のような地縁コミュニティと、NPOのようなテーマ別コミュニティがあるが、地域の様々な課題を受け止め、その対応の中心となるのは、引越さない限り逃れることのできない地縁コミュニティだと考える。</p> <p>自治会や市民活動団体等のコミュニティについて、稲城市が現状をどのように把握し、どのように対応しようとしているか、確認させていただくために質問する。</p>	
	(1) 第五次稲城市長期総合計画 基本計画における“コミュニティ”とは具体的にどのようなものを指すのか、その定義について確認したい。	
	(2) 現在の稲城市のコミュニティが抱える課題について、市の認識を確認したい。特に自治会とその他の市民活動団体において状況が異なるのであれば、その差異も含めて伺いたい。	
	(3) 地域において自治会が担っている役割について、市の認識を確認したい。特に従来から担っている役割（地域行事や環境美化など）と近年求められるようになった役割（高齢者見守りや子育て支援など）、それぞれの状況（取組団体の数等）について伺いたい。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(4) 第五次稲城市長期総合計画 基本計画の施策に掲げられている「自治会活動及び市民活動に対する支援」について、具体的にどのような支援を実施していくのか確認したい。	
	(5) 市民の皆様が安心して自治会活動に参加できるようになるためには、万一の事故発生に備えた保険加入が必須と考える。様々な保険会社から「自治会活動保険」が販売されているが、それに対する市の考えを確認したい。	
	(6) 第五次稲城市長期総合計画 基本計画における「コミュニティの育成支援」の目標達成のためには、自治会活動等による住民相互の助け合い・支え合いの充実が必要不可欠と考える。稲城市としての今後の取り組み方針を確認したい。	
2	若葉台駅前周辺の空き店舗について	
	若葉台駅周辺では、iプラザ2階の学習塾、ケーズデンキ隣のレストランに続き、三井住友銀行の閉店が予定されている。若葉台駅前の活性化・賑わいづくりの面では大きな痛手だと考えるが、これについて市の考えを確認したい。	
3	若葉台公園だんだん広場や商業施設周辺の騒音・暴走行為について	
	若葉台公園だんだん広場中央やヤマダ電機駐車場などにバイク等で集まり騒いでいる若者を見かけることがある(そこにいる若者が常に騒いでいるわけではない)。これについて、市として何らかの対応はできないか、確認したい。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	資源ごみ集団回収補助金制度の現状について	
	<p>若葉台地区では、ほぼ全ての自治会が資源ごみ回収の補助金を主な収入源としている。しかしながらコロナ禍の昨今、古布等の回収を中止する業者がいたり、資源ごみ回収自体を取りやめる業者がいたり、という状況が発生していると聞いている。これについて市はどのように認識しているか、確認したい。</p>	
5	新型コロナワクチン接種受付について	
	<p>現在、新型コロナワクチン接種の予約は、電話予約とインターネット予約、個別接種対応医療機関への直接申し込み等で対応しているが、今後基礎疾患のある方や64歳以下の方も対象とする際、予約申込の殺到による混乱を避けるため、予め日時を指定して接種券を送付する（生駒市）、申込抽選方式による受付に変更（加古川市）といった改善を行っている自治体もある。</p> <p>稲城市においては、どのような検討がなされているか確認したい。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>大丸都営跡地の福祉活用について</p> <p>(1) 暫定活用としての「住宅展示場施設」建設の進捗状況について聞きます。</p> <p>(2) 大丸都営跡地の利用について東京都から稲城市への問い合わせ状況とそれに対する回答について聞きます。</p>	
2	<p>「重症心身障害・医療的ケア児者通所事業所整備促進事業補助金」について</p> <p>(1) 事業の進捗状況と今後の見通しについて聞きます。</p> <p>(2) 利用者や家族の意向も聞きながら、利用しやすい事業所の設置が求められると考えるが認識を聞きます。</p>	
3	<p>オリンピックの聖火リレーと自転車競技ロードレースについて</p> <p>(1) 聖火リレーについて</p> <p>① 市内の児童・生徒に行ったサポートランナーの募集の詳細について聞きます。</p> <p>② コロナ禍における聖火リレーの実施について市としての認識を聞きます。</p> <p>(2) 自転車競技ロードレースについて</p> <p>① 当日のボランティアの詳細について聞きます。</p> <p>② 当日の観戦方法について聞きます。</p> <p>③ コロナ禍における自転車競技ロードレースの実施について市としての認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p><b>特別教室のエアコン設置について</b></p> <p>(1)市内の小中学校の特別教室へのエアコン設置数と設置率、設置していない教室名を聞きます。</p> <p>(2)計画的にすべての特別教室へエアコン設置をすることについて認識を聞きます。</p>	
5	<p><b>矢野口地区の交通安全対策について</b></p> <p>(1)「矢野口駅東」交差点の東側、JR南武線高架下の市道の車の通行に関して、市民から寄せられた声について聞きます。</p> <p>(2)同市道の安全対策について聞きます。</p>	
6	<p><b>生理の貧困について</b></p> <p>(1)「生理の貧困」に関して、市のとってきた対策について聞きます。</p> <p>(2)今後の市の施策について聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	新政会	梶浦みさこ

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>新型コロナウイルス感染症の陽性者等の選挙投票機会の確保について</p> <p>令和3年度予定されている東京都議会議員選挙と衆議院議員選挙について、新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者の方々も選挙権行使の機会を確保し投票できるよう努めていただきたいと思います。新型コロナウイルス感染症の陽性者等の選挙投票機会の確保について伺います。</p> <p>(1)入院中の陽性者について</p> <p>(2)宿泊施設で療養中の陽性者について</p> <p>(3)自宅療養の陽性者及び濃厚接触者について</p>	
2	<p>自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進と基盤としてのマイナンバーカードの普及促進・利便性の向上について</p> <p>(1)稲城市におけるマイナンバーカードの交付状況について</p> <p>(2)マイナンバーカード取得促進について</p> <p>マイナンバーカード取得のオンライン申請補助事業の効果と、マイナンバーカード取得促進の取り組みについて伺います。</p> <p>(3)戸籍謄本や抄本などマイナンバーカードによるコンビニ交付サービスの拡大について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>住民票の写し・印鑑登録証明書・課税(非課税)証明書とともに、本籍地が稲城市の方のマイナンバーカードによる戸籍の全部事項証明書並びに個人事項証明書のコンビニ交付サービスの拡大について伺います。</p>	
	<p>(4) マイナンバー制度の情報連携による行政手続きのデジタル化と自治体 DX の推進について</p> <p>行政のデジタル化の基盤としてマイナンバー制度の活用が進められています。子育て支援や介護、福祉、災害支援など、市民の様々なライフステージに際し、多数存在する手続きのワンストップ化、マイナンバー制度の情報連携によるオンライン手続きや提出書類の簡素化、市民生活の向上に向け、行政手続きのデジタル化とマイナンバー制度の利活用による自治体 DX の推進について伺います。</p>	
3	<p>持続可能なプラスチック資源循環の促進について</p> <p>(1) 稲城市のプラスチック資源循環の取り組みについて</p> <p>海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内におけるプラスチックの資源循環を一層促進させる重要性が高まっています。稲城市のプラスチック資源循環の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(案)について</p> <p>現在(令和3年6月)審議されている「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(案)」の「市町村の分別収集</p>	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	及び再商品化について」について市の見解を伺います。	
	<p>(3) 持続可能なプラスチック資源循環の促進について</p> <p>法改正により地方自治体がプラスチック製品を一括回収することになれば、回収に係る事務量が増え、地方自治体の負担が増えることが懸念されますが、持続可能な社会形成のためSDGsの視点からも、プラスチック製品については可能な限り“使い捨て”から“資源としての循環”に制度を早急に整える必要があると考えます。持続可能なプラスチック資源循環の促進について、市の方針、また今後の取り組みの見解を伺います。</p>	
4	<p>東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレースコースをレガシーとしてサイクルツーリズムを推進する「ナショナルサイクルルート」を目指すことについて</p>	
	<p>(1) ナショナルサイクルルート制度について</p> <p>ナショナルサイクルルート制度について市の認識を伺います。</p>	
	<p>(2) GOOD CYCLE JAPAN のサイクルツーリズムの推進モデルルートについて</p> <p>GOOD CYCLE JAPAN のサイクルツーリズムの推進モデルルートについて市の認識を伺います。</p>	
	<p>(3) ナショナルサイクルルート指定要件と東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレースコースについて</p> <p>① ルート設定について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>ナショナルサイクルルートのルート設定の指定要件と稲城市を含む東京 2020 オリンピックの自転車競技ロードレースコースについて市の認識を伺います。</p>	
	<p>②走行環境について 稲城市内における東京 2020 オリンピックの自転車競技ロードレースコースのナショナルサイクルルート指定要件としての走行環境について伺います。</p>	
	<p>③受入環境について サイクルステーションやサイクリストに対応できる宿泊施設、救急対応など稲城市内における東京 2020 オリンピックの自転車競技ロードレースコースのナショナルサイクルルート指定要件としての受入環境について伺います。</p>	
	<p>④情報発信について ホームページなどで日英 2 か国語以上により情報発信するなど、東京 2020 オリンピックの自転車競技ロードレースコース自治体としてナショナルサイクルルート指定要件の情報発信について伺います。</p>	
	<p>⑤取組体制について 稲城市観光協会や市内シェアサイクル事業者のように官民連携によるサイクリング環境整備の取り組みなど、稲城市内における東京 2020 オリンピックの自転車競技ロードレースコースのナショナルサイクルルート指定要件としての取組体制について伺います。</p>	
	<p>(4) 東京 2020 オリンピックの自転車競技ロードレースコースの</p>	



通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革稲城の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者福祉施設等に従事されている方への新型コロナウイルスワクチン接種について	
	<p>全国の新型コロナウイルスワクチン接種状況は、5月31日の1日当たりの接種回数は58万7757回で、31日時点の累計接種回数は1321万回を超えています。65歳以上の高齢者への接種は494万人で医療従事者らを含めた接種人数は977万人を超えていると言われております。稲城市においても4月19日から医療従事者への接種を開始され、現在は65歳以上の高齢者への接種も始まりました。ワクチン接種においては、事前準備と接種方法が鍵を握っていると思います。他の自治体では混乱もあるといわれている中で、市においては、ハイブリッド方式により順調に進められてきているかと思っております。そこで、次に優先順位として接種ができる、高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者福祉施設等に従事されている方への接種について市の現状を伺います。</p>	
	(1) 高齢者福祉施設等の利用者の接種状況について伺います。	
	(2) 高齢者福祉施設等に従事されている方への接種について伺います。	
	(3) 高齢者以外で基礎疾患を有する方への接種について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	上谷戸緑地体験学習館の駐車場の利用方法について	
	<p>上谷戸緑地体験学習館では、タケノコ堀りや畑で育った野菜の収穫体験をはじめ、鯉のぼりの掲揚、五月人形展や雛人形展など1年を通して様々な行事を行っています。また、施設を管理する坂浜自治会を中心とした水車の会の方々の努力もあり、地域の方々に気持ちよく利用されてきております。残念ながら昨年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため様々な行事が中止となっており、ホタルの会が中心となり毎年行われているホタルの夕べも中止になってしまいました。ホタル観賞は20時頃がピークといわれ21時頃には減っていくと言われております。ホタルの夕べが実施される場合は、駐車場の利用を中止するために、警備員を配置し管理しておりましたが、中止の影響やホタルの生態を知らない方々も多いのか、22時を過ぎても訪れて来ており、駐車場も含めて大きな話し声が聞こえるとの声が寄せられています。駐車場の利用方法について伺います。</p>	
	(1) 上谷戸緑地体験学習館の駐車場利用の現状について伺います。	
	(2) 今後の駐車場利用方法について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	介護保険制度の持続可能な運用を行うための介護を担う人材不足への対応について	
	<p>4月で介護保険制度を開始してから20年が経過しました。制度の改定や介護保険事業所を始めとした施設の充実など、様々な形で高齢者の介護を支えて来ましたが、読売新聞のアンケート調査では、主要自治体の首長の約9割が今後10年、現行のまま制度を維持することが難しいと認識しているとのことが分かりました。6割超は、高齢者人口がピークとなる2040年に、必要なサービスを受けられない「介護難民」が出ることの懸念を持っているとの回答でした。背景には、ここ5、6年で顕著になった介護人材の不足などがあるようです。市においても今年度から第五次長期総合計画が始まり、基本構想、基本計画、実施計画の構成のもと、推進されるものと思います。基本計画の第二節、安心して暮らせる地域福祉の高齢者福祉の充実の課題として、介護保険制度の持続可能性の確保、適正な運用が必要とあり、中でも介護を担う人材不足への対応が必要とあげられています。介護を担う人材不足への対応について伺います。</p>	
	(1) 介護を担う人材不足について、市の認識について伺います。	
	(2) 介護を担う人材不足について、市の現状について伺います。	
	(3) 介護を担う人材不足について、今後の対応について伺います。	

通告番号	会派名	氏名
18	起風会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p><b>防災と救急に関する稲城市の取り組みについて</b></p> <p>(1) 消防団員の育成支援について</p> <p>①平成27年度稲城市一般会計予算から、消防職員向け消防車両運転免許補助費用が追加され今日に至っている。ご周知の通り、平成19年6月2日の道路交通法改正（免許制度改正）で新たに『準中型』という区分が生まれた。同年6月1日までに普通免許を取得した者は既存として8+以下限定の中型免許として、現在の稲城市消防団ポンプ車両の重量であっても問題なく運転が出来ている。しかし、同法改正から十数年が経過し、改正後に普通免許を取得した若い団員には現在の団ポンプ車両を運転できない者も少なくない。当然に今後時間がたてばこれは顕著になる。災害出動時の要の運転手たる機関員を安定的に確保する意味で、一般生活に必要な普通免許の取得は個々の団員に任せるにしても、その先の準中型免許への格上げだけは支援する必要があると考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 救急出動について</p> <p>①新型コロナウイルス感染症による市民の行動変化もあり、病院も通院控えが顕著にみられた。稲城市消防本部における救急出動件数については、平成31年・令和元年と比べて令和2年度は変化があったか、伺う。</p> <p>②同感染症対策（熱発案件）用の救急隊もあり、市民の安心感は大きいものがある。こうした対応を加味したことで、出動に対する負担或いは到着までの平均時間などには支障がないものか、伺う。</p> <p>③緊急搬送先となる各病院の受け入れ状況で、コロナ前から状況が悪化している、なかなか搬送先が決まらないなどの事象は起きていないか、確認する。</p>	

**民・民の問題、課題に対する市の関わり方について****(1) 市への相談について**

①市職員として法令に則り『民事不介入の原則』を踏まえるにしても、日々多くの市民相談があると推察する。民事に係る市の相談窓口には何があり、どの程度の相談件数があるのか伺う。

②わざわざ市に相談してくる時は、助言等を行い本人が自己解決できる場合と、「困っているのだから何とか市でやってほしい」という場合まで、広いレベルがあると思われる。市としては、『人情は分かるが市行政としての範疇を超える案件』についてどのような姿勢で対応しているか、伺う。

**(2) 市民の皆様への周知について**

①「今まで、そんなルールがあるとは知らなかった」という言葉も、やはり一つの意見だと受け止める。市民の皆様には『行政とは何か』を理解してもらうのは難しいと思うが、現状どのような周知をされているか、伺う。

②昨今、私自身も民有地同士での小さな争い（隣地の落ち葉や倒木、用水路、空き家問題等）が持ち込まれることが多い。民法という堅苦しい表現ではなく、『市民自治』であるならば住民同士のことはまず住民同士で話し合うよう促すべきだが、市の見解を伺う。

③住民にとって、一番身近で頼りになり保存活用する冊子に毎年度各地区単位で作成される『ごみ・リサイクルカレンダー』がある。紙面的には限りがあるものであるが、上述のような各種基本的なルールや、ハチや害獣等の駆除も現在表記されているが、加えて『民地である以上は、基本的に所有者があらゆる対応するのが原則』である等を書き加えることが出来れば、事前の周知にもなると考えるが、市の見解を伺う。



3	<p><b>稲城っ子の食育、学校給食並びに休日学童クラブの昼食について</b></p> <p>(1) 稲城市における食育の取り組みについて</p> <p>①稲城市食育推進計画で『食育』にどう取り組んでいるか、改めて基本の方針を伺う。</p> <p>②SDGsを推進する本市として、第五次稲城市長期総合計画では「食」についてどのように捉えられているか、伺う。</p> <p>(2) 稲城市立小中学校における学校給食について</p> <p>①学校給食共同調理場第一調理場が移転新築され、学校給食に対する期待が高まっている。第二調理場も併せ、現在はコロナ禍のため難しいが、生徒児童らの見学等を通じて『給食を学ぶ』機会はどのように設定されているか、伺う。</p> <p>②給食時間は『食育』における最高の授業時間である。稲城市の小中学校では給食時間をどの程度確保しているのか、伺う。</p> <p>③近隣他市の事例ではごみ減量運動教育も兼ね、給食時間を利用した『フードロス選手権』や、おかわり自由等の取り組みを多く聞く。稲城市立小中学校ではどのような取り組みが行なわれているか、伺う。</p> <p>(3) 学校休日時における学童クラブの昼食について</p> <p>①現在、学校休日時における稲城市の学童クラブでは、児童の昼食をどのようにしているのか、伺う。</p> <p>②一億総活躍社会、共働き世帯は市内にも多く、当然に春休み、夏休み、冬休み等の長期休校中ずっと学童クラブに通うという子も多いと推測されるが、学校休日時の学童クラブに通う児童数はどの程度か、伺う。</p>	
---	---	--

	<p>③他市を見ると、土曜日や学校休校日に学童クラブでの給食や弁当を提供している事例もある。学校給食共同調理場並びに調理員を長期休暇中に活用することや、希望者を募り弁当事業者に一括手配すること等、様々な手法を検討できるのではないかと考えるが、如何か。</p>	
4	<p><b>稲城市の新型コロナウイルスワクチン接種における課題克服について</b></p> <p>(1) 今般の65歳以上接種実施で抽出された課題とその克服について</p> <p>①稲城市自体はワクチン数量も確りと確保でき、さらには集団・個別・施設のハイブリッド方式で大いに成果を挙げたと認識している。しかし、やはり一部不満の声があることも確かだ。市としてはどのような課題が抽出されたか、伺う。</p> <p>②今後、基礎疾患をお持ちの方や一般への接種拡大に向け、上記の課題を踏まえてどのように取り組む姿勢であるのか、伺う。</p>	